

アクティブ感動引越センター新事業紹介

<事業コンセプト> 最後のお引越し

アクティブ感動引越センターでは、引越しサポートを提供する中でさまざまなお客様の人生模様寄り添ってきました。嬉しい引越しも悲しい引越しも含め「人生のハッピープレリュードを演出」させていただくことで信頼いただき、多くの方にリピート利用いただけることが強みでもあります。

2022年には「生活サポートサービス」事業を立ち上げ、私たちのサービスをオールシーズンご利用いただける環境を整えてきました。

そして2024年度、私たちは新たに遺品整理事業「最後のお引越し」をスタートいたしました。

遺品整理はご遺族の弔いのプロセスの一部でありながら、「不用品の回収作業」の域を出ない既存サービスが多く、ご遺族への配慮や接客対応にこだわりをもつ必要性を感じていました。

引越しを人生の節目ととらえお客様を家族のように想ってご提供してきたノウハウを活かし、ご遺族の人生の節目を後悔しないものにするお手伝いをしていく所存です。

私たちの新しい「最後のお引越し」事業に、ぜひご注目ください。



遺品の仕分け



搬出後の清掃



2024年 オリコン顧客満足度 調査 引越し会社関東第1位

引越し事業では顧客満足度 関東部門1位を獲得

グループ従業員限定 モニターを募集します

ご家族の遺品やお部屋がそのままになっている、想いの詰まった遺品リメイクをできるならしたい！など、心の隅にある気になることはありませんか？お話を伺い適したサービスをアクティブが原価にてご提供いたします。遺族の方が本当に必要としているサービス構築に、ご協力お願いいたします。

■ご提供するサービス内容

- 遺品の仕分け
- 処分品の搬出
- 搬出後の清掃
- 処分品の廃棄(産廃業者へ委託)
- 遺品リメイク など

お申し込みは担当者への直通メールへ！
こちらのQRコードから送信ください。



私が担当窓口です



つばさホールディングス所属 「最後のお引越し」事業 事業担当 松原瑞樹

学生時代に遺品のリメイク事業を運営。事業や自分の経験を通して遺品整理のお困りごと解決の必要性を感じる。アクティブ感動引越センターの寄り添い型サービスを活用することで課題解決ができると、新規事業の創出に関わる。

つばさホールディングス企画 ビジネスジャーニー START!

他社の取り組みを知り、自社に置き換え新しい経営視点を得るための視察企画「ビジネスジャーニー」を、NPO法人テラ・ルネッサンス協力のもと立ち上げます。3月にはイベントを開催し5社に参加いただきました。佐賀県の学校法人・社会福祉法人・一般企業を訪問し、未来社会で活躍できる人財育成・経営手法を現場で学ぶ機会となりました。会社見学の枠にとどまらず、自社に活かす具体的施策を得ることができるこの企画は、今年度は3回の実施を予定しています。



←グローバル人財育成事業の説明(東明館高校)

古民家の梁を活かした住居設計(田島株式会社)↓



←庭の糞を植物栽培に活かす取り組み(社会福祉法人学正会)

ほっと一息するクイズ

次の漢字の赤いところはさて、何画目でしょうか？

答えは社内報のどこかに♪

オウンドメディアがあるんです

flap Web

未来のつばさを広げよう



つばさ広報SNSもあるんです



社内報 flap 春号
2024年4月1日発行
発行部数500部
制作・発行：
つばさホールディングス株式会社
〒190-0012
東京都立川市曙町2-38-5
立川ビジネスセンタービル11F
お問合せ：
shanaihou@tsubasa-holdings.co.jp

もっと！
顔が見える社内報へ



vol.23

2024
春



2024年度入社式終了後の集合写真

今号の掲載企業はこちら！

- つばさホールディングス
- つばさモビリティ
- アクティブ感動引越センター
- 折戸運送

TikTok 運用をスタート！
分析結果を公開

グループを知ろう！
グループの商品やサービスを
知ろう、使おう

つばさモビリティ株式会社 設立のお知らせ

つばさホールディングス株式会社の子会社であるエイチディーエス株式会社、FUロジテック株式会社と株式会社カーライフサービス多摩車両の3社は合併し、令和6年4月1日より、つばさモビリティ株式会社として事業を開始いたします。

この合併により各社の強みを活かしてモビリティ業界へより本格的に展開を図ることが可能となり、お客様へのさらなるサービス向上が出来るものと確信しております。各拠点の事業はこれまでと変わりなく、旧社名の信頼に恥じないサービスをスタッフ一同で提供し続けます。

■各社が新しい拠点名で事業を継続していきます



■つばさモビリティのCI(ロゴ)デザイン紹介



つばさロジスティクスのファミリーロゴとして、最後の丸がデザイン統一され、文字の配置で動きを表現しています。

<ロゴの使用について>

ロゴの各種データはつばさホールディングス広報宣伝Gで保管しています。ご使用の際は広報までご連絡下さい。各社の企業ロゴは色指定や配置方法についてレギュレーションで定められていますので、ご使用の際は一緒にお渡しするレギュレーションに沿ってご使用ください。

■CIが表すのは3つの「リズム感」

①いい音

リズムカルにならぶアルファベットで音階を想起させています。私たちが提供する整備・車検や様々なサービスを通じて毎日走り続けられる「当たり前」を丁寧に、チームで奏でていきます。お客様の車両がいい音をさせて爽快に走る快適な状態をイメージしています。

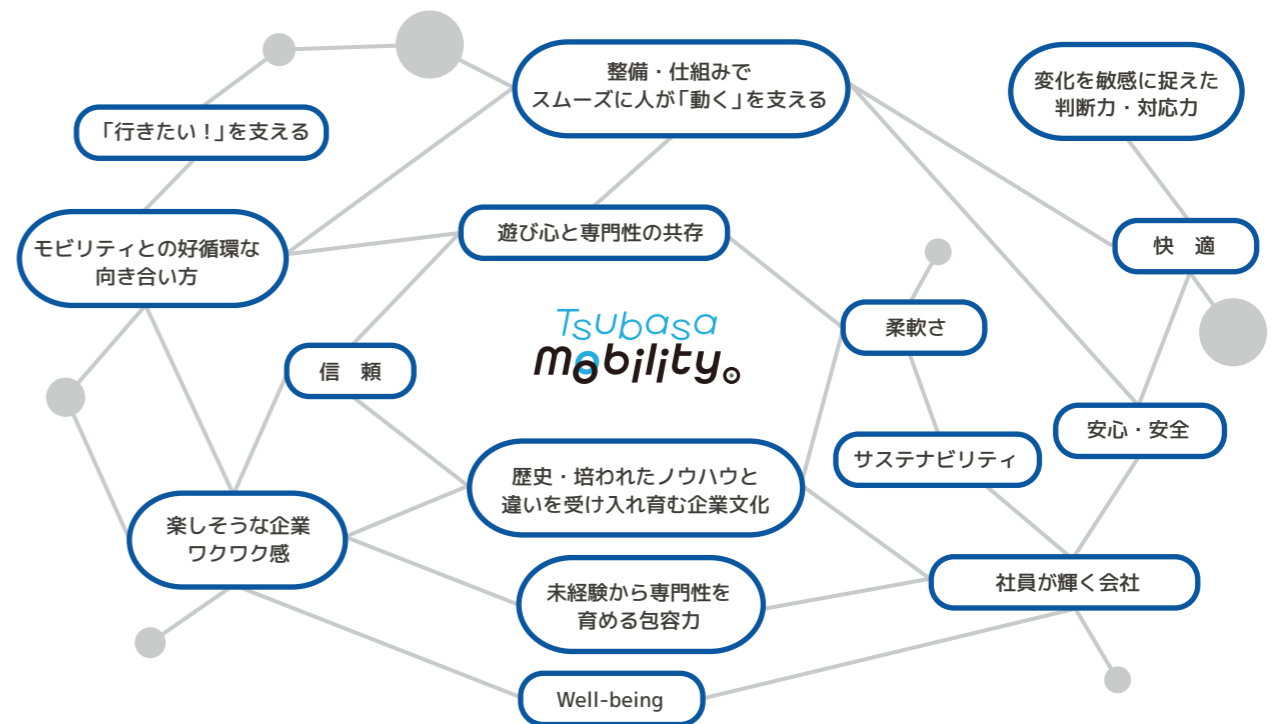
②途切れないリズム

メーカー・車種・年式、難しい整備も受け入れることができる安心感と快適さ。お客様、そしてグループを整備面から支え事業継続できる安心感を提供します。技術力・サービス力による不安がなく、リズムを途切れさせないサポート体制を表しています。

③鼻歌が聞こえてくる企業イメージ

従業員がウキウキ鼻歌を歌いながら心を躍らせ、仲間と声を掛け合いながら働いている状態を表します。サービスの質を高めるために、まず従業員がイキイキと働ける環境で、行う業務が「ありがとう」になって返ってくるような職場環境づくりを大切にします。

■つばさモビリティが目指すカタチ



■つばさホールディングスグループのカタチ

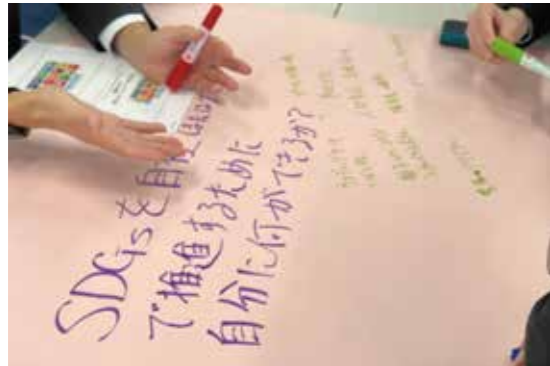
つばさホールディングスは2024年度も、ロジスティクス・モビリティ事業のバックオフィスとして現場を活性化させる支援部隊を担います。グループの皆様とより一層連携を強めて、社会になくなくてはならない持続可能な組織として発展し続けていきます。



未来も創ろう、考えよう。

環境・社会・ガバナンスに向けた取り組みを進め 必要とされる持続可能な組織を目指します

つばさホールディングスはサステナビリティ経営を推進します



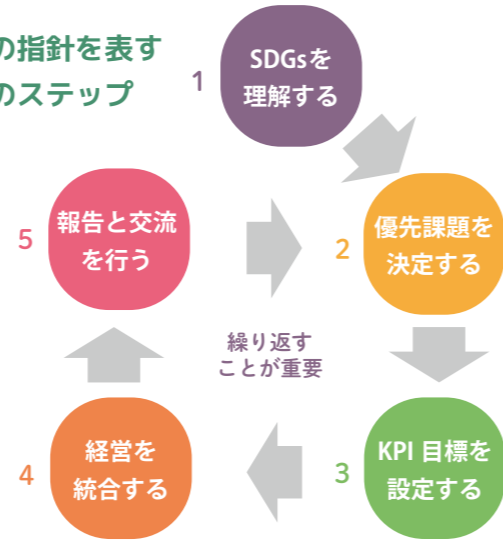
SDGs 研修でのグループワーク

SDGs への取り組みに効果を感じる企業は7割（帝国データバンク調べ）。TOP4は「企業イメージの向上」「従業員のモチベーション向上」「経営方針の明確化」「採用活動へのプラスの効果」となっています。取引の拡大や売上増加も挙げられました。経営のバトンを渡す若い世代に選ばれる企業姿勢が求められています。

推進プロセス

SDGs 企業導入プロフェッショナル有資格者の飯島氏を指南役に、代表、執行役員、社内取締役を中心として重点課題の抽出を進めています。今年度から従業員向けのSDGs 研修実施も計画されています。一人ひとりの意識と関わりが大きな成果につながります。

企業の指針を表す5つのステップ



私たちに何ができるか？
何をしたいか？



NPO法人テラ・ルネッサンスの理事 鬼丸氏によるSDGs理解研修を2月に実施。企業導入の重要性を解き、後半はグループワークで未来のありたい姿を話し合った。



研修資料



小学校ではSDGsに関わる情報が溢れている！

「持続可能な社会の創り手の育成」が明記された「新学習指導要領」は、小学校は2020年度、中学校は2021年度、高校は2022年度から導入されました。以降、授業や地域活動を通じた教育機関でのSDGsの啓蒙は活発になっています。世界の消費を支えるZ世代は、エシカルマインドをもった社会的な意識が高い世代とも言えます。

全国約3,000校で116万部発行の環境教育情報紙「エコチル」ではこんなタイトルの記事が掲載

環境に優しい「エコドライブ」を使用！
ゼロエミッション・ビークルの説明やドライバーのメリットにもなる燃費向上によるコスト削減や、安全運転について

空気をもっときれいに！
日常でできる対策や大気環境に優しい交通行動について

SDGsを実行しよう！
レベル分けて自分たちにできる行動をまとめています

デコ活アクション

省エネ家電でエコライフ
二酸化炭素 (CO₂) を減らす (DE) と脱炭素 (Decarbonization)、環境に良いエコ (Eco) から取った造語。脱炭素のための活動の愛称

エコチル電子版を読んでみよう



SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略語。国連に加盟する193カ国が2030年までを目標に、地球環境や社会課題、貧困や格差などの解決を目指した国際目標です。前身のMDGsは途上国の課題解決にとどまり、限られた専門家による主導だったため、2015年までの目標を達成できませんでした。

今、特に地球環境の悪化は待ったなし。一人ひとり、そして規模に関係なく企業一社一社が未来に向かってできる目標を定め実行することが求められています。

SDGsクイズにチャレンジ！

小学校で配布される環境教育新聞「エコチル」から出題！答えはこの枠内に

Quiz 1 2021年度の食品ロス量は523万トン。このうち、食品関連事業者から発生する事業系食品ロス量は何万トンある？

- A 224t
- B 279t
- C 355t

Quiz 2 地球の気温上昇に関する世界共通目標は産業革命から1.5度未満。2023年の世界平均気温は何度以上上昇したと言われている？

- A 0.6°C
- B 1.1°C
- C 1.4°C

MDGs ミレニアム開発目標
Millennium Development Goals
シンプル明快だが対象が制限されたため未達成
8ゴール 途上国対象 国連の
21ターゲット の目標設定 専門家主導

SDGs 持続可能な開発目標
Sustainable Development Goals
包括的で互いに関連があり地普遍的。誰もが対象
17ゴール 全ての国対象 国連
169ターゲット の目標設定 全加盟国

SDGsとは - 環境・社会・ガバナンスに向けた取り組みを進め 必要とされる持続可能な組織を目指します

SDGsと防災

2024年元日に発生した能登半島地震は、内陸部で発生した日本でも稀な大きさの地震と発表されています。被害状況は3月5日付で人的被害1,540名、住宅被害81,717棟にのぼっています。

能登半島地震の被災者へのサポート事例

認定 NPO 法人カタリバ

全国の無料の放課後教室で、学習支援や食事の提供、居場所作りを行う。心身のケアを目的に設置した「子どもの居場所」では累計2,000人以上が利用。



助け合いジャパン「トイレネットワークプロジェクト」

東日本大震災をきっかけに発足。全国の自治体が所有する移動式トイレトレーラーが能登半島地震の被災地に集結し被災者の健康に直結する災害時のトイレ不足解消に貢献した。



届け.jp 一般社団法人障害攻略課

障害者の物資需要と供給を見える化したシステムで、震災後3週間で30,000点を届け目標を100%達成。



義援金送金のご報告

つばさホールディングスグループは能登半島地震支援を行うNPO法人カタリバに、義援金として128,893円を3月27日付で送金いたしましたのでご報告します。募金にご協力いただきありがとうございました。



折戸運送に震災の影響を聞きました



会社近くの灯篋が倒壊。また能美市では石垣倒壊や家屋の屋根（瓦）が落ちる、道路の隆起や爆裂、震災直後は停電や断水もあった。

北部方面に向かって被害が大きく折戸運送近隣の被害は少なかった。

1月は能登方面への出荷は停止状態だった。能登方面からの出荷は1ヶ月半停止していた。

親戚の避難を受け入れていた従業員もいた。

防災への意識が高まった。防災グッズの準備や、津波の際の避難経路の確認をした。

吹奏楽部のイベント中止により楽器運搬のキャンセルがあった。

お家でも会社でも災害への備えを直してみよう



2024年4月1日より
新しいメンバー4期生が加わりました!

WELCOME!

研修を受けて
4月17日から
仮配属先に出向
します。ご指導
をお願いします!



〈吹き出し内容〉
名前・仮配属先
①出身大学
②学生時代の部活
③学生時代に力を入れたこと
④入社への意気込み

<p>宋 河濤 多摩フードサプライ配属</p> <p>①東京経済大学 ②漫画アニメーション研究会 ③サークル幹事として、コロナ禍でも活気ある活動を牽引しました。 ④前向きに目をそらさず挑戦することを大切に、周りを照らしていける自燃人目指してがんばります!</p>	<p>松浦 麻理亜 つばさホールディングス配属</p> <p>①法政大学 ②水泳部 ③小学1年生からずっと水泳を続けてきました。 ④笑顔を絶やさずポジティブ思考で何事にも挑戦し、周りの皆から頼られる存在になれるよう取り組みます。</p>	<p>酒井 太嗣 つばさロジスティクス配属</p> <p>①駿河台大学 ②野球部 ③大学では法学部で贈与について研究しました。 ④研修で役柄を演じることを学び、今は通勤電車で本を読んでできるサラリーマンを演じています。明るく元気にがんばります!</p>	<p>龍前 葵 つばさホールディングス配属</p> <p>①専修大学 ②ローラースケート部 ③ローラーホッケーのキーパーをがんばりました! ④視座を高くもち、信頼していただける社会人になれるように地道にコツコツ努力していきます。</p>
--	---	---	---

8ヶ月前の答え: 9画面

1-3期生の取り組み
高等学校の「グローバル人材育成事業」に参加しました



生徒の集中力を高める授業の進め方が勉強になり、早速実践している。話している最中に焦ることがなくなり、聞き手の反応も見る余裕が出てきた。(新納)



対話では正解を求めるものではなく互いの意見の違いを楽しみ知る姿勢をもつようになり、業務でも対話を丁寧に行うようになりました。(永山)

世界の裏側で起きている紛争も、決して他人事とは思えず「考え続けること」「小さな支援をすること」の大切さを知った。(佐藤)

昨年度、つばさホールディングスは佐賀県の東明館高等学校で NPO 法人テラ・ルネッサンスが取り組む「実践的グローバル人材育成事業」に支援を行い、1期生から3期生がその授業にオンラインで継続的に参加をしました。

この取り組みはアクティブラーニングの手法を取り入れ生徒が能動的に学ぶ授業モデルで、2023年2月にはウガンダやカンボジアにおける支援計画の立案と実行に対して「第18回 西日本国際財団アジア未来大賞」に選ばれました。

未来のリーダー人材として採用された1期生の新納さん、2期の永山さん、3期生の佐藤さんは佐賀県にも足を運び、高校生と直接対話を重ねてリーダーシップについて学びを深めました。



TikTok 運用を始めました! 3ヶ月の運用結果を報告します



2023年12月末にスタートしたつばさホールディングス公式 TikTok 配信。4月からは企画から撮影・動画編集・分析まで THQ 広報が内製運用を始めます。今号では3ヶ月間の運用成果・PV ランキングなどリサーチ結果を発表します!

対象アカウント

- つばさホールディングス
カーライフサービス多摩車両
Backflow MOTORCYCLE
- つばさホールディングス
- つばさホールディングス
- つばさロジスティクス

TikTok 用に制作した動画は他の SNS にも同時投稿して反応を比較した

引き続き各社に協力いただき採用ファネルに合った運用を行い定量的成果を目指します

10,20代をターゲットにした採用強化を目的に運用を開始したTikTok。潜在層への認知拡大に有効な媒体として、初めの3ヶ月は SNS 運用コンサルタント企業様に伴走してもらいノウハウを身につけました。TikTok 用に制作した動画は1本40秒〜60秒。他のSNSにも同時投稿し、全体として10代から50代の層にまんべんなく視聴してもらうことに成功しています。また Instagram ではグループ会社の公式アカウント内で視聴できる「共同投稿者設定」の活用は今後の運用にも期待できる機能でした。

